

製品名: CLD22 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08940**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	24kDa

抗原情報

遺伝子名	CLDN22
別名	
遺伝子 ID	53842.0
SwissProt ID	Q8N7P3
免疫原	ヒトタンパク質 AA 範囲の一部領域から得られた合成ペプチド: 139-189

背景

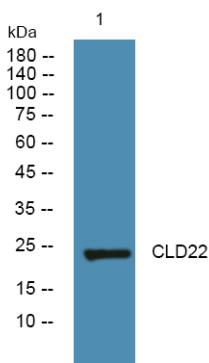
この遺伝子はクローディンファミリーのメンバーをコードします。クローディンは膜貫通タンパク質であり、タイトジャンクション鎖の構成要素です。タイトジャンクション鎖は、上皮細胞シートまたは内皮細胞シート間の細胞間隙を溶質や水が自由に通過するの

を防ぐ物理的な障壁として機能し、細胞極性の維持とシグナル伝達において重要な役割を果たします。この遺伝子はイントロンを持たず、反対側の鎖で WWC2 遺伝子 (GenelD: 80014) の 3' UTR と重複しています。[RefSeq 提供、2010 年 8 月],機能: カルシウム非依存性細胞接着活性を介して、タイトジャンクション特異的な細胞間隙の閉塞に主要な役割を果たします。 ,類似性: クローディングファミリーに属します。 ,

研究分野

細胞接着分子 (CAM) 、タイトジャンクション、白血球の内皮透過移動、

画像データ



SH-SY5Y 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、CLD22 ウサギポリクローナル抗体を 1:1000 に希釈し、4°で一晩